

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大町市コメ輸出プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	コメ輸出プロジェクトチーム 0261-22-0420
事業区分	(6) イ 農業の振興と農山村づくり (6) エ 商業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,524,400 円 (うち支援金: 1,136,000 円)

事業内容

- ・信濃大町産のコメの輸出量の拡大及び販路開拓のため、大町市の輸出米の取引を行っている輸出事業者が新たに開設するイギリスのロンドンにおいて、コメ生産者が直接渡航し、大町市産のコメの PR、販路開拓及び市場調査を行った。
- ・今後のコメの輸出拡大に資することを目的に、輸出事業者を招へいし、プロジェクトチームメンバー及び市内の有機米生産者が、最新の海外での需要動向や生産者のコメ作りにかかる思い、有機米の取り組みなど意見交換するとともに、有機米をテーマに研修会を実施した。



【事業者との商談等販売促進事業】

【目標・ねらい】

- ・コメの輸出量拡大及び販路開拓
- ・農業者の所得確保と経営安定
- ・輸出事業の拡大と体制整備

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・連携している事業者がロンドンへ新たな拠点を開設するため、コメの生産者自らが渡航し、大町のお米の良さや我々の本気度をお伝えすることで、未進出の欧州での新たな販路の開拓確保に繋がっていく。そして、今回の渡航で得た情報等を基に、信濃大町産のコメを生産者の顔が見えるストーリー性を交えて展開していく。
- ・有機米研修会を初めて開催したが、有機農業と有機 JAS 制度の正しい知識を深める機会となった。
- ・当事業によって、コメの輸出事業の体制整備が進みコメの安定的な輸出量の確保に繋がることに期待する。

※自己評価 【B】

【理由】
年々順調に米の輸出量は増えており、前年と比べ32t増加した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業では、品目を「コメ」に絞り込み輸出拡大対策に取り組むことを目的に事業を実施し、順調にコメの輸出量が増加した。日本全体でも農産物の輸出が伸びており、国では輸出を益々増やしていきたい考えを示している。大町市では事業費の確保が課題であるが、農業者の所得確保と経営安定の手段の1つとして、輸出事業に引き続き関係者と連携し取り組んでいく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある